



2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 白 鳩
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 菅 原 知 樹
 (コード：3192 東証スタンダード)
問合せ先 IR広報室長 中村 幸浩
 (TEL. 075-693-4609)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年10月9日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年1月9日に公表しました2026年11月期（2025年12月1日～2026年11月30日）の通期業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 11 月期業績予想数値の修正（2025 年 12 月 1 日～2026 年 11 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,750	50	20	14	2.10
今回修正予想 (B)	6,230	△100	△130	△135	△20.28
増減額 (B-A)	△520	△150	△150	△149	
増減率 (%)	△7.7	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2025 年 11 月期)	4,208	△131	△149	314	47.31

(注) 2025 年 5 月 29 日開催の第 53 回定時株主総会において、決算期（事業年度の末日）の変更が承認されたことを受け、2025 年 11 月期につきましては、2025 年 3 月 1 日から 2025 年 11 月 30 日までの 9 ヶ月決算となっております。

2. 修正の理由

当社は、当第3四半期累計期間まで通期業績予想を据え置いてまいりましたが、同期間の実績を踏まえ、残る第4四半期において当初予想を達成することは困難であると判断いたしました。

売上高につきましては、海外Eコマース事業が堅調に推移する一方、国内Eコマース事業においては、自社プライベートブランド商品の不振が当第3四半期まで続いております。加えて、エネルギーや生活必需品の価格上昇を背景とした消費者の節約志向により、ナショナルブランド商品を含む売上全体が伸び悩んでおります。第4四半期においてこれらを大幅に挽回することは難しく、売上高は6,230百万円と、前回発表予想を520百万円下回る見込みであります。

利益面につきましては、価格が最優先される消費者志向のもとで値ごろ感のある価格設定を継続する必要があり、利益率の回復に至っておりません。経費の圧縮を進めておりますが、売上総利益の減少を補うには至らず、営業損失100百万円、経常損失130百万円、当期純損失135百万円を計上する見込みであります。

(注) 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上